令和８年度　Ｎｏ．３　　発行：県北教育事務所　２０２６．１１．５

放課後子ども教室だより

いわね遊友クラブ

令和8年9月15日（水）訪問

～今回は、フィンランド発祥のモルック体験です！

いわね遊友クラブは、岩根小学校の１～3 年生の子どもたち19名が登録しており、地域のボランティアの皆さんに見守られながら年間を通して活動しています。この日は、モルック体験を行いました。モルックは、フィンランド発祥で木製の棒を投げてピンを倒し、ちょうど 50 点を目指すスポーツです。

初めに、全体でルールの確認をしました。数え方は、実際にピンを数えながら一緒に確認しました。その後、3グループに分かれて、スタートしました。初めは、上手に投げられなかったり、ピンに当たらなかったりしたのですが、繰り返すうちに上手にピンをたおすことができるようになりました。



【モルック体験のスタート】

協働活動リーダー



以前は、公民館で活動していましたが、建物の改修のために、今は学校で活動しています。体育館を使用する時は、前の週に伝えておき、活動終了後には必ず職員室に報告するようにしています。



【スタッフのみなさん】



【今日の活動を確認】

子どもたちの感想

モルックは、投げるところが楽しいです。いつもは、しりとりをしたり、学年の違う友達と遊んだりできるので、毎週楽しみにしています。

私たちも楽しんでいて、生きがいのひとつになっています。80歳までは、続けたいです。一緒に関われる喜びが大きいです。



協働活動サポーター



【モルックのルール説明】



【一緒に数え方を確認】



【ゴールの条件を確認】

いわね遊友クラブでは、協働活動サポーターに12名が登録されています。昨年度より2名増え、毎回6名程度で運営しています。サポーターの菅野さんは、「コーディネーターが活動的で、上手にまとめてくれるので、とてもやりがいを感じている。」と話してくれました。子どもたちも、安全に楽しく活動していました。